

# グループ 訪 問

## 小谷の自然が大好き



井藤文男さん

### 減農薬水稻栽培で「ダルマガエル米」栽培に挑戦

八田原ダム湖畔の水田の一角に、ダルマガエルの新しい繁殖地を設け、その保護と絶滅危惧種ギフチョウの観察を伊尾小の児童と共に活動を続けている、ひげのおじさん伊尾小谷の井藤文男さんを訪ねました。

「私は自然が大好き。ダルマガエルもギフチョウも保護することは大変だけど、単純に楽しいから、面白いからしているんです。昔、ダム湖ができる時、建設省は家の近くの山からでている川をコンクリートで三面張りにすると聞いた。自分は、それではホタルが棲めなくなる、早速ホタルが棲めて川も保持できる方法を提案、建設省を困らせたけど、現実化させた。お陰でホタルも今では乱舞。一方、



「ビオター二」の造成作業中

ミヤコアオイの自生するこの地はギフチョウの生息にかかせない地域であったが、美しいがために盗難にあつたりで保護は難しい。」と悔しがられる。ダルマガエルは休耕田に移して3年目確実に保護と繁殖が前向きになつているのを夢見て、今後は安心安全でおいしい米「ダルマガエル米」を栽培する計画。減農薬水稻で保護と繁殖に取り組みながら安全に棲める栽培田を小谷一帯に広げおいしいお米を届けたいという目標を持っていくんです。と話されます。1日も早い実現にエールを送り、取材を終えました。

### 編集後記

新世羅町になり、議会だよりも9回の発行となりましたがここにきて行政をとりまく財政は予想以上に緊迫度を増し、議会だよりの発行にも影響がでてきました。今、次期の査定が始まっていますが、コスト削減は当然の事、昨年並みの予算は確保できにくい状況となりつつあります。広報委員会では新しいスタイル

をみつけるべく、あらゆる分野を研究し、成果を見つけだそうと今、努力をつみ重ねています。議会の動きを正しくわかり易く、いつも手にとって読んでいただける広報紙をめざして、本年も一生懸命奮闘して参りますので、よろしくお願いいたします。

(仙光)



議会広報広聴調査特別委員会  
 ・委員長／小川信晃  
 ・副委員長／仙光保喜  
 ・委員／松本秀治・末盛守  
 田坂進・松浦敬潤

### 発 議

議会は2件の意見書を賛成多数で、国（内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣）に意見書を提出、是正を求める。

◎住民のための地方財政の確立と公的責任を守る。

- イ 公共サービスの民間開放は安易に行なわれない。
- ロ 画一的な公務員の削減は行なわれない。
- ハ 日本政府とアメリカ政府は戦争政策推進強化を見直す。
- ニ 低賃金、不安定雇用の労働者を作らない。

◎障害者自立支援法見直しを求める。

- イ 福祉支援を「利益」だとし、得をしたのだから、その利益に応じて金を払えという道理は考えられない。福祉支援は利益ではなく、生きる上に必要な支えである。
- ロ 実態より低い判定結果がでて希望する福祉支援が受けられない。
- ハ 働きたくても、働き場がないのに自立を促している。